

受託団体名	佐賀大学
-------	------

事業実績報告書

(1) 講習の実施方法： 対面講習 ・ 通信講習 (不要なものを二重線で消す)

(2) 本事業における目標等

佐賀県における特別支援学校教諭免許状の保有率の向上に資する

(3) 事業の実施日程

事業項目	実施時期											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業(認定講習)								9・10 23・24 30	1			

(4) 認定講習・公開講座・通信教育の概要

認定講習・公開講座 通信教育名称	概要 講師 職・氏名	期間	定員	中心となる領域	時間数	一・二種 専修の別
			受講希望者数 受講者数 (うち単位認定者数)	含む領域	単位数	施行規則第 7条該当欄
令和元年度認定講習 特別支援教育総論	現職の特別支援学校及び幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校の教諭で特別支援学校教諭の一種免許状または二種免許状を取得しようとするものを対象に、障害児教育の基礎として、「障害とは何か」「障害児教育の歴史」「特別支援教育の理念と制度」「特別支援教育の目的及び目標」「各種障害」「障害児の教育課程」「インクルーシブ教育と合理的配慮」等の観点から総論的に講義を行う。	令和元 年11月9 ～10日	100		16	一 種 及 び 二 種
			61			
	佐賀大学教授・芳野正昭		57(57)		1	

令和元年度認定講習 知的障害児心理学	現職の特別支援学校及び幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校の教諭で特別支援学校教諭の一種免許状または二種免許状を取得しようとするものを対象に、知的障害児の心理学的理解に関する講義を行う。1日目は知的障害児の「知覚・認知」「記憶」「言語」「注意」「学習」の心理機能の概説し、2日目は「情緒」「社会性」「問題行動」等を概説する	令和元年11月23～24日	100	知的障害者	16	一種及び二種
			57			
	佐賀大学講師・日高茂暢		54(54)		1	
令和元年度認定講習 発達障害児心理療法	現職の特別支援学校及び幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校の教諭で特別支援学校教諭の一種免許状または二種免許状を取得しようとするものを対象に、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、学習限局症等の発達障害に対する理解と支援について講義を行う。	令和元年11月30日～12月1日	100	重複・LD等領域	16	一種及び二種
			64			
	佐賀大学教授・松山郁夫		60(60)		1	

(5) 事業の実施結果

- ① 認定講習の実施結果から、各講座の定員と受講希望者数・受講者数の関係について
 - ・3講習すべてで希望者数・受講者数が定員を大幅に下回った。
 - ・この要因として、夏季休業中の開催が無理だったため、学期期間中に開催したことや認定講習開催のアンナウンス・募集期間が関連するものとして推測された。
- ② 受講生の満足度について
 - ・「発達障害児心理療法」アンケート調査結果より (N=60)
 - 非常に良かった：45名 (75.0%) 良かった：15名 (25.0%) どちらとも言えない：0名 (0%)
 - 余り良くなかった：0名 (0%) 良くなかった：0名 (0%)
 - ・「障害児教育総論」アンケート調査結果より (N=57)
 - 非常に良かった：36名 (63.2%) 良かった：21名 (36.8%) どちらとも言えない：0名 (0%)
 - 余り良くなかった：0名 (0%) 良くなかった：0名 (0%)
 - ・「知的障害児心理学」アンケート調査結果より (N=54)
 - 非常に良かった：36名 (66.7%) 良かった：17名 (31.5%) どちらとも言えない：0名 (0%)
 - 余り良くなかった：0名 (0%) 良くなかった：0名 (0%) 無記名：1名 (1.9%)
- ③次年度の佐賀大学免許法認定講習の希望の有無について
 - ・「発達障害児心理療法」受講生 (60名) (希望する56名、希望しない4名、無回答0名)
 - ・「障害児教育総論」受講生 (57名) (希望する51名、希望しない6名、無回答0名)
 - ・「知的障害児心理学」受講生 (54名) (希望する46名、希望しない2名、無回答6名)
- ④その他 (アンケートの自由記述より抜粋)
 - ・とても楽しく本当に勉強になりました。二種免許認定講習はもう終わります/なるべく短期間で必要科目を受講できる組み合わせにさせていただけると助かります/障害児教育に関する概要や歴史について深く学ぶことができました/実践できそうなことを教えて頂き、ありがとうございました、

(6) 事業の実施成果

佐賀県における特別支援学校教諭免許状の保有率の向上に貢献していると考えられる。なお、本講習に対するニーズはありと考えられる。

(7) 今後の改善事項と方策

- ① 実施した講習の内容は受講者のニーズに応じたものになっていたと考えられる。
- ② 本講習に対するニーズは今後も高いと考えられる。今後、実施する場合は、講習内容等に関して佐賀県教委との連絡調整をしたうえで進める必要がある。
- ③ 募集の時期等も視野に入れながら定員設定の適正化を進める必要がある。